

8月21日～8月31日の9日間開設
『緑内障ホットライン』467件の相談を受付
～多くの患者が緑内障に関する情報提供を希望～

緑内障の患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,800名)は、8月21日(月)～31日(木)の土日を除く9日間、緑内障に関する相談にお答えする「緑内障ホットライン」を開設した結果、計467件もの相談が寄せられました。昨年同時期に開設した際のお問い合わせ件数は208件で、今年は倍以上もの相談件数となりました。疾患、治療に関する情報のニーズが、より一層高まっているといえます。

「緑内障ホットライン」は、病気や失明への不安、医師に相談しにくい事などを少しでも解消していただくため、会員患者がボランティアで相談を受け付けるものです。一般の方々にも緑内障について知っていただくため、情報提供も行っています。「緑内障ホットライン」は、2000年の緑内障フレンド・ネットワーク設立以来、毎年開設しており、毎回多数のお問い合わせをいただいています。

全相談者のうち80.6%が50代以上の方で、80.5%が患者ご本人からの相談でした。緑内障の罹患率が40代以上から高くなることを考慮すると、40代の方々への注意喚起が必要だと思われます。全相談者の中で女性が占める割合が79.4%にのぼり、女性は男性より積極的に疾患や治療について情報を求めているようです。相談内容を集計した結果、以下のことが明らかになりました。

緑内障について、一層の情報共有が必要

相談内容の中で最も多かったのが、病気についての質問や相談で、全相談者の43.0%にあたる201件もの相談が寄せられました。「今後、失明の可能性はあるのか」といった、病気の進行状況についての悩みや、治療・手術に関する質問が多く寄せられ、患者ご本人は緑内障についての知識を持っているものの、自身の病状や進行状況などについて身近に相談できる人がおらず、不安を持っている場合が多いことがうかがえます。また、生活していく上で不便に思うことや、将来病気が進行した場合の不安といった、日常生活への影響に関する相談も71件(15.2%)寄せられました。

加えて、緑内障フレンド・ネットワークへの質問や入会の希望も多数いただいております。多くの患者が緑内障についての情報を共有できる場を希望していることが明らかになりました。

医療機関の紹介、医師に関する問い合わせも多数

病気についての相談に次いで多かったのが、「良い病院を紹介してほしい」という内容で、138件(29.6%)にのびりました。定期的な通院による治療と検査が必要となるため、通院に便利な近隣の眼科医を紹介してほしい、あるいは緑内障の専門医を紹介してほしいという相談が多く寄せられました。

医師に関する相談も55件(11.8%)寄せられ、現在受診している医師の治療法に対する疑問や、別の医師からのセカンドオピニオンを希望する声も聞かれました。治療を受けているものの、多くの患者が依然病気に対する不安をぬぐい切れずに生活しており、症状や治療について相談できる専門医や医療機関に関する情報を希望しているといえます。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)は緑内障の約7割を占めていると言われ、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプです。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためにも、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971 FAX:03-3272-6972

<http://www.gfnet.gr.jp> e-mail: info@gfnet.gr.jp

【参考資料】

「緑内障ホットライン」相談内容の集計結果

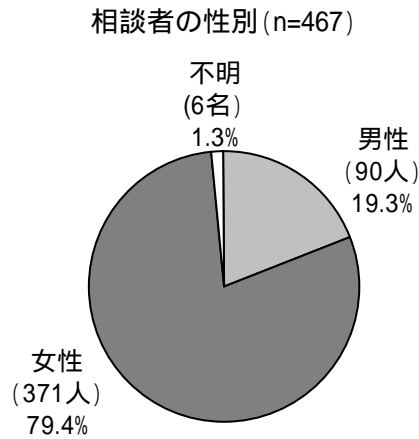
概要

開設期間： 2006年8月21日(月)～8月31日(木)
土日を除く9日間
開設時間： 10:00～16:00
相談件数： 467件 (51.9件/日)

内訳

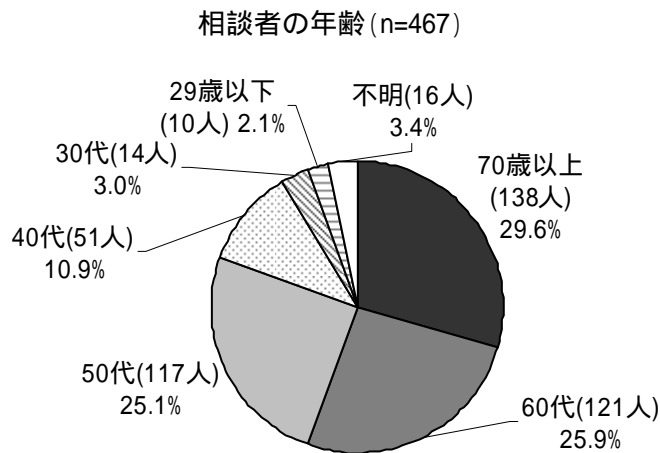
1) 相談者の性別

相談者の79.4%が女性でした。男性の約4倍となっており、女性の方が病気についてより高い関心を持ち、行動されていることがわかります。



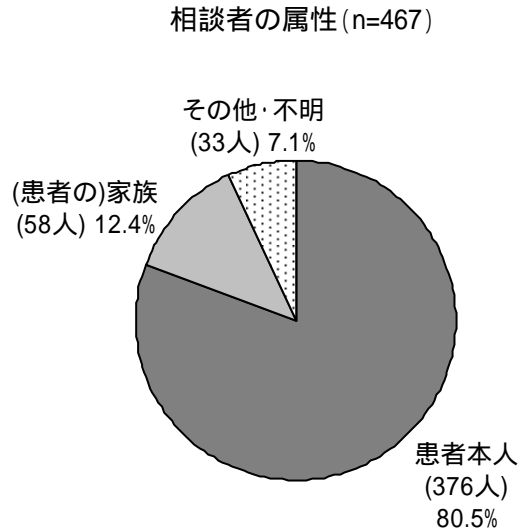
2) 相談者の年齢

80.6%が50代以上の方で、40代の相談者数は10.9%にとどまっています。緑内障は40歳以上の方に多く見られる病気です。早期発見のために、40代の方にもより関心を持っていただくことが必要であるといえます。



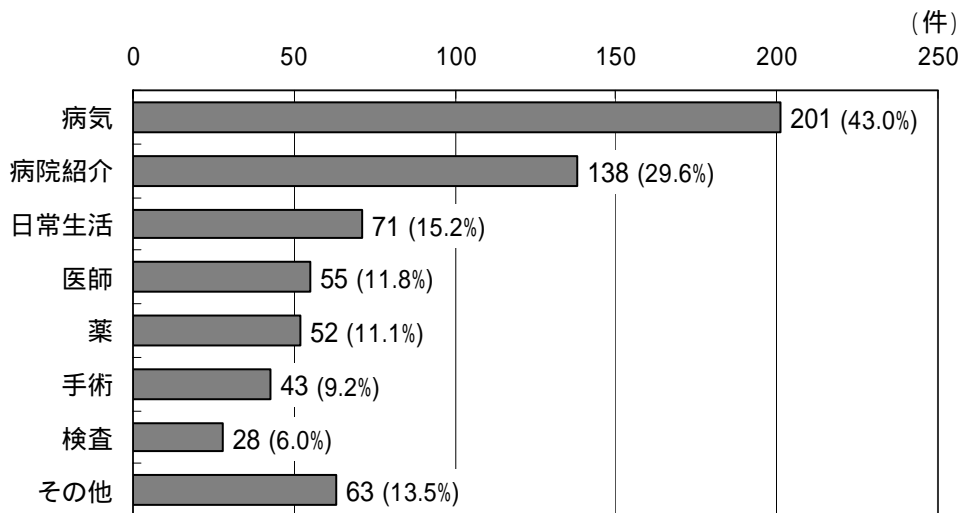
3) 相談者の属性

「患者本人」からの相談が 80.5%を占めています。現在医師の治療を受けている方でも、緑内障について疑問や不安を抱えていることがうかがえます。



4) 質問・相談内容

質問・相談内容 (複数相談、n=467)



- 病 気 ...緑内障について知りたい、など
- 病院紹介 ...緑内障の治療を行っている医療機関の紹介
- 日常生活 ...日常生活での注意点や不安、など
- 医 師 ...医師とのやり取り、医師への相談方法、など
- 薬 ...治療薬の変更、種類、点眼の回数、など
- 手 術 ...不安、具体的な方法、など(レーザー治療を含む)
- 検 査 ...検査の内容、どこで受けられるか、自己チェック、など

5)具体的な相談内容(抜粋)

- 病 気... 点眼はいつまで続ければ良いのか
治療効果がない
- 病院紹介... 通院に時間がかかるので病院を変えたい
緑内障の専門医を紹介して欲しい
セカンドオピニオンが欲しい
- 日常生活... 失明の恐れがあるので、準備のため訓練をしたい
- 医 師... 医師について不満がある
医師が精神的なサポートをしてくれない
- そ の 他... 患者である家族を勇気づけたい
緑内障フレンド・ネットワークについて知りたい/入会したい

以上